

●この容器は、水を加えてかき混ぜられるよう、多少大きめに作られています。
●表示している色、ツヤおよび容器の中の塗料の色は、乾いてからの塗料の色と多少異なる場合があります。

防虫 防霉
防カビ 防藻
撥水 UVカット

標準塗り面積(1回塗り)
5~7㎡
タタミ3.2~4.2枚分
古材などの吸い込みが激しい場合
3~5㎡
タタミ2.1~3.0枚分

乾燥時間
夏期/約2時間
冬期/約4時間

塗り重ね時間の目安
夏期/1~3時間
冬期/2~5時間

塗りにくいときは
水(5%以内)
でうすめて下さい

注意書きをよく読んでから
使用して下さい。



汚れて色あせた 木部もきれいに仕上がる

リフォーム塗り替えに最適

水性 ウッドリフォームペイント

0.7L

汚れた木部
**強い着色力と
高い隠ぺい性**
**半造膜
タイプ**

1回塗り

用途

屋内外の木部・木製品
ログハウス・ウッドデッキ
木戸・木扉・戸戸・羽目板・板壁
ラティス・ガーデン木製品
家具・窓枠・作品など

無鉛塗料
鉛・クロム化合物は
使用していません。

商品名 水性ウッドリフォームペイント 品名 合成樹脂塗料(水系)
成分 合成樹脂(アクリル・ウレタン)、顔料、防カビ剤、防霉剤、防虫剤、
防藻剤、撥水剤、紫外線吸収剤、水

特長

- 水性で塗りやすく、低臭タイプの木部保護塗料です。
- 1回塗りで、隠ぺい性が高いので、汚れて色あせた木部もきれいに仕上がり、
リフォーム塗り替えに最適です。
- 紫外線吸収剤、撥水剤、防カビ剤、防霉剤、防腐剤配合で木部を劣化から守ります。

用途

- ウッドデッキ、木塀(板塀)、笠木、羽目板、戸袋、バルコニー、木戸、家具、窓枠、工
作品などの木部全般
- ラティス、トレリス、フェンス、ベンチなどの木製ガーデンニング製品
※古い木部や旧塗膜のある木部の場合は、下地処理後に塗装できます。必ず下
地処理後に塗装して下さい。※乾かす水がかかたり、いつも湿っているところ、
また室内の床面には適しません。

塗装方法

- ①下記下地処理の注意に従って、塗装する木部表面の下地処理をおこないます。下
地処理後はよく乾かしてから、塗装して下さい。
- ②塗料がついて困るところは、マスキングします。(塗料は浸透しますので、マス
キングテープの端から塗料がにじむことがあります)塗料が付いた場合は、水
ですぐに拭き取ります。
- ③フタを開ける前に、容器をよく振り塗料をよく混ぜます。フタに手をそえてマイナ
スドライバーなどを差し込んで開け、棒などで塗料を底から充分にかき混ぜて均一に
します。(顔料などが沈んでいる場合がありますので、底からよくかき混ぜます)
- ④ニス・ステイン用ハケを使って、木目に沿って塗っていきます。
- ⑤塗りにくい場合や、泡がのこる場合などは、水で少しうすめます。(5%以下が
目安です)
- ⑥ウッドデッキのような広くて平らな面を塗装する場合には、コテバケを使うと
はやくきれいに塗装できます。
- ⑦塗り終わったら、すぐにマスキングテープをはがします。
- ⑧塗装後1日以上充分に乾燥させます。不十分な場合、水がかかたり、雨や結
露などによって、塗膜が流れたり、ハガレやシミの原因になることがあります。
※表記の乾燥時間は、半硬化(指で軽くこすって跡がつかない状態)の時間です。

用具の手入れ方法 使用した用具は乾かないうちに、新聞紙かボロ布ででき
るだけ塗料を拭き取り、水で湯で洗って下さい。

下地処理の注意 (塗膜のハガレ防止のため以下の処理をして下さい。)

- ①ゴミ、ホコリを充分に拭き取ります。泥、サビ、カビ、苔、藻などの汚れはナイロンブラシ、
ナイロンタワシなどで水洗いし、よく乾かします。②ヤニや油分が多い場合は、ラッカーうす
め液で拭き取り、よく乾かします。③木材表面が劣化している場合は、ナイロンブラシ、ナイ
ロンタワシ、デッキブラシなどで水洗いし、できるだけ表面層を除去して、よく乾かします。
- ④他の塗料が塗装されている場合は、旧塗膜をサンドペーパー、電動サンダーなどで充分に
取りのぞきます。⑤木材表面が硬く、塗料が浸透しにくい木材の場合は、サンドペーパーなど
で目荒らしをおこなうと塗料の付きが良くなります。⑥木材表面がザラザラしているときは、
サンドペーパー(#280~#320)を木目に沿ってかけておくと、滑らかに仕上がります。

取扱上の注意 ①表示の用途以外に使用しないで下さい。塗料がすでに塗ら
れている面や吸い込みが浅い化粧板には適しません。②食器など、口や食品に直接触
れるものには塗らないで下さい。③大小屋や鳥かご、その他ペットがなめたり、かじったり
するような木部には塗らないで下さい。④体調の悪いとき、アレルギー・化学物質に敏感
な人は使用しないで下さい。⑤目に入ったり、皮膚に付着しないよう、また顔敷しないよう
注意して取扱って下さい。⑥塗料が付いても支障がない服装で作業して下さい。⑦塗装
は雨の降りそうなど湿度の高い日は避け、天気の良い日に塗って下さい。また塗装中、
乾燥中ともに5℃以下になるときは塗らないで下さい。⑧塗装中、乾燥中とも換気を良く
し、その後も塗料の臭いなくなるまでは、ときどき換気をして下さい。⑨塗料のかくはん
が不足した場合、塗料が均一にならず、隠ぺいや着色が不十分になります。⑩色の濃い木
材に明るい色を塗装した場合や、塗料が浸透しにくい木材の場合や、うすめすぎたり、うす
く塗りすぎると、下地の色が透ける場合があります。その場合は2回塗りして下さい。⑪木
材の種類、状態によって適切な素地調整をおこない、塗装方法に従って塗装して下さい。
⑫塗装する木材の色や吸い込みの程度によって仕上りの色・乾燥性などが大きく左右さ
れますので、あらかじめ目立たない部分、または同種の木材で試し塗りをして、仕上りの
色・乾燥性などを確かめてから塗って下さい。⑬防腐剤や防虫剤が塗布や注入された木材
に塗装した場合、薬剤によっては塗装や仕上りに悪影響を与える場合がありますので注
意して下さい。⑭塗り面積・乾燥時間・着色力・色相などは、素材・塗布量・下地・塗り方・気象
条件などにより多少異なります。⑮塗装面が暗くなどめれている場合や、はき物の種類に
よっては歩行の際に滑りやすくなる場合がありますので、充分に注意して下さい。⑯表示
の色は印刷のため、実際の色と多少異なります。⑰塗装したウッドデッキ面などに、塩化ビ
ニル製品(子供用プールやマットなど)を直接置いた場合、塗装面に跡が付くなどの悪影響
を及ぼす場合があります。⑱容器は塗料を使い切ってから捨て下さい。やむを得ず塗料
を捨てるときは、ASAHI PEN水性・油性兼用塗料固着剤で固化するか、新聞紙などに塗り広
げ、完全に乾かしてから捨てる手。

保管上の注意 ①幼児の手が届かないところに保存し、子供が誤飲・誤食・
いたずらをしていないように注意して下さい。②直射日光や火気のある場所、-5℃以
下になるところ、自動車内などの高温になるところには置かないで下さい。
③残った塗料はしっかりとフタをして保管し、できるだけ早く使い切ってください。

危険 ●遺伝性疾患のおそれ
●水生生物に非常に強い毒性

救急処置 ●目に入った場合には、直ちに多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診
察を受けて下さい。
●誤って飲み込んだ場合には、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
●蒸気、ガスなどを吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な
場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
●皮膚に付着した場合には、多量の石鹸水で洗い落とし、痛み又は外観に
変化のあるときは、医師の診察を受けて下さい。

株式会社 ASAHI PEN 大阪市鶴見区鶴見4-1-12
http://www.asahipen.jp
お客様相談室 ☎06-6934-0300 日本製
00-1710